

第2回

日本中医学会学術総会

〔総合テーマ〕 伝統医学は医学のフロンティア
—東アジア伝統医学の融合と発展の可能性

- 会 頭** 関 隆志（東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学寄附講座）
- 期 日** 2012年9月1日（土）13時～18時（12時受付開始） 9月2日（日）9時～17時（8:50 受付開始）
- 会 場** タワーホール船堀（東京都江戸川区船堀4丁目11）<http://www.towerhall.jp/>
- 参加費** 正会員・準会員・海外会員：4,000円（当日5,000円）
学生会員：2,000円（当日5,000円）
非会員（一般）：12,000円（当日15,000円）
- 懇親会** 6,000円（当日7,000円）※9月1日18時～20時 懇親会を行います



関 隆志先生

今年の学術総会は、東北大学の関隆志先生が会頭を務められます。関隆志先生ご自身が東北地震を体験され震災医療に従事された関係から、「震災において伝統医学ができること」と題するシンポジウムが開催されます。ほかにも興味深い意欲的なシンポジウムが予定され海外からの講演もあります。盛りだくさんの企画にご期待ください。

大ホール

会頭講演	(13:10)	震災から未来へ 伝統医学の生きる街づくり 関 隆志（東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学寄附講座講師）
招待講演	(14:00)	糖尿病の中医学的治療 呉 深濤（天津中医薬大学教授）
シンポジウム①	(15:10)	科学的エビデンスに基づいた伝統医学に向けて 座長：酒谷 薫（日本中医学会理事長、日大医医学部脳外科教授） 西本 隆（西本クリニック院長、神戸大学医学部臨床教授） 【シンポジスト】 山本 智史「ハイパースペクトラルカメラによる舌診」（慶應義塾大学医学部 漢方医学センター助教） 春木 豊「身体心理学について」（早稲田大学名誉教授） 尾股 定夫「触覚センサー」（日本大学工学部教授） 上田英一郎「心身医学による皮膚疾患の治療」（大阪医科大学皮膚科准教授）

大ホール

招待講演	(9:10)	台湾の中医事情 陳 志芳（台北市中醫師公会理事長）
シンポジウム②	(10:10)	震災において伝統医学ができること—伝統医学を用いた医学・医療・介護の再生 座長：関 隆志（東北大学大学院医学系研究科先進漢方治療医学寄附講座講師） 呉 中朝「四川大地震における中医学の貢献と今後の対策（仮題）」（中国中医科学院教授） キム ジョンヨル「四象医学を生かした被災者健康診断の試み（仮題）」（韓国東洋医学研究所(KIOM)副所長） 飯塚 顕「生薬を活かした復興まちづくり—涌谷町の試み」（東京医科歯科大学（元外務省職員）） 桜井 充「被災地復興に生かす統合医療」（参議院議員（心療内科医））
シンポジウム③	(13:00)	漢方と中医学の架け橋—日本漢方の症例や治療法を中医学の目で解釈して、有効性や普遍性を抽出 座長：安井廣迪（安井医院院長） 平馬 直樹「江戸の医案を解析する」（仮題）（平馬医院、日本中医学会会長） 矢数 芳英「矢数道明の臨床」（仮題）（矢数医院、東京医科大学麻酔科） 加島 雅之「現代漢方を評価する」（仮題）（熊本赤十字病院内科） 戴 昭宇「中醫師からみた日本漢方」（仮題）（東京有明医療大学保健医療学部鍼灸学科准教授）
シンポジウム④	(15:00)	湯液（漢方）と鍼灸の理論の架け橋—湯液（漢方）の理論と鍼灸学理論の異同とそこから見えてくる新たな中医学の方向性 座長：兵頭 明（学校法人後藤学園中医学研究所所長） 王 曉明（帝京平成大学ヒューマンケア学部はり灸学科教授）

小ホール

パネルディスカッション	(9:10)	日本に根付いてきた中医鍼灸—日本各地の中医鍼灸研究会の活動報告 座長：浅川 要（東京中医鍼灸センター院長） 篠原昭二（明治国際医療大学伝統鍼灸学教授）
一般演題	(13:00)	

【申し込み先】日本中医学会ホームページ <http://www.jtcma.org>